

II 現状と課題（併設型（高志））

（1）地域社会、国際社会のリーダーとなる高い学力と豊かな人間性

①市町の中学校に比べ3年間で350時間多い授業

（中学3年での「数学Ⅰ」、「生物基礎」の早期履修）

- ②スーパー・ティーチャー（大学、他県中高一貫校の教員）の授業
 ③興味・関心、進路希望に応じて科目を選ぶ進学型単位制教育課程の実施

〔成果〕

- ・学力推移調査 中学3年次（1期生） 9位/534校
- ・ふくい理数グランプリ 数学部門・物理部門最優秀賞（1期生）
- ・難関大学進学者（R3卒業生） 56人 （R2卒業生：31人）

〔課題〕

- ・内進生と高入生が刺激し合う環境が少ない。
内進生の約5割が「**早期の混合クラス編成を希望する**」と回答
高入生の約4割が「**もっと交流があると思っていた**」と回答
(卒業生アンケート結果より)

（2）ふるさと福井への深い知識と大きな誇り

①外部講師の授業や校外研修を通したふるさと学習の実施

（県内企業リレー講座、博物館研修、東京研修、職場体験）

- ②ふるさとの課題解決に向けた提言等をまとめる課題研究を実施し、中学3年次に8000字の論文作成（経済同友会と連携）
 ③SSH・SGHにおいて、地元の大学教授や企業人をメンターとして招聘

〔成果〕

- ・ふるさとへの誇り・グローバルな視野・チャレンジ精神を高めるのに**内進生の9割以上が役立った**と回答

〔課題〕

- ・「ふるさと福井」に関する課題研究に加え、**SSH校ならではの幅広い自然科学系テーマの取扱い**

（3）世界に通用する語学力と国際感覚

①特色ある学校設定科目を独自に実施し英語力を強化

中学 「英語表現基礎」（外国人教員が単独で授業）

高校 「英語活用DD(Debate & Discussion)」

「英語活用RP(Research & Presentation)」等

②朝活動の基礎英語（ラジオ講座）

③海外研修等を通して国際感覚を醸成

中学3年「シンガポール研修」

高校2年「選択型研修旅行」（海外8コース、国内2コース）

〔成果〕

- ・**1・2期生の93.3%、3期生の100%**が中学3年までに**英検準2級以上を取得**
- ・全国高校生ディベート選手権（団体準優勝・個人優秀ディベーター賞）

IV 中高一貫教育の充実に向けた提言（併設型（高志））

教育目標(左の(1)～(3))をより高いレベルで達成するために次の取組みを実施

多様な教育課程の充実

- 内進生・高入生別のクラス分けを見直し、**高校1年次から混合クラス**を編成
 - ・理数系の科目は別講座で学習し、その他の科目や行事等の学校生活は一緒に学習、活動
 - ・高入生の希望者は、長期休業中に理数系の学習を集中的に受講
- 中学での**先行履修の在り方の検討**、高校での**進学型単位制教育課程の改善**
 - ・中学校の理科について 高校理科（生物・物理・化学等）の幅広い分野の発展学習を検討
 - ・内進生も高校入学後に高入生と同じ数学等の科目を選択可
- 全クラスを普通科系専門学科へ移行**
 - ・必修の内容が定められた普通科に比べて、理数や英語の単位（学習内容）を柔軟に配置
 - ・中学校の先行履修やSSH指定を踏まえ、高校では**理数の専門的授業**や海外交流を含めた**英語教育を充実**

探究型学習の深化

- SSH指定校として**自然科学分野の課題研究の強化**
- SSH、SGH事業において、大学・研究機関や国内外の高校と連携した課題研究を実施
 - ・海外の**姉妹校や研究連携校との定期的な交流**、SDGsに関連した課題研究を充実
 - ・福井大学「グローバル探究エージェンシー（GIA）」（産学官支援による地域探究学習プロジェクト）に参画

主体的な学びを育む教育環境の整備

- 混合クラスや自然科学分野の課題研究を強化するための施設整備
 - ・新たな**選択教室や実験室等を整備**
- 生徒が主体的に活動するための教育環境の整備
 - ・学校行事の運営、校則の見直しを通して、課題発見・合意形成・意思決定をする力を育成
- 中高生が語り合える場や生徒一人一人がリーダーを経験できる環境を充実
 - ・中学生が、卒業生や高校生と学校生活や将来のキャリア等について話し合うメンタータイムを導入
- オンライン全国アカデミーへの参加
 - ・全国の中学生や多様な大人とオンラインで交流する機会を設定。生徒が意見をまとめ発信できる環境を整備

入学選抜の見直し

- 高志中学校入学選抜
 - ・適性検査の見直しの検討
- 高志高校入学選抜
 - ・特色選抜の検討

Ⅲ 現状と課題（連携型）

<共通>

[特徴]

- ・ 中学3年生への進級段階で連携クラスの生徒を選考し、簡便な選抜により高校の連携クラスにスライドさせる福井型中高一貫教育を実施

[課題]

- ・ 魅力あるカリキュラムが示せないことにより中学校の連携クラスの生徒確保が困難

<あわら地域>

連携校：金津高校、芦原中学校、金津中学校

先行学習：国語、数学、英語（国数 10月～ 英 4月～ 週1時間程度）

クラス編成：芦原中学校、金津中学校ともに連携クラス（単独学級）
金津高校も連携クラス（単独学級2クラス）

[成果]

- ・ 高校の授業への円滑な移行

[課題]

- ・ 中学校3年における発展的な学習時間の確保
- ・ 魅力ある**中高連携したカリキュラムの策定**
- ・ 適性検査の在り方と連携クラスの生徒の学力向上

<越前地域>

連携校：丹生高校、朝日中学校、宮崎中学校、越前中学校、織田中学校

先行学習：数学、英語（1月までに中学教科書を終え、2月から週4時間）

クラス編成：朝日中学校は数学と英語のみ連携クラスの講座を編成
丹生高等学校は連携クラス（単独学級）

[成果]

- ・ 高校の授業への円滑な移行

[課題]

- ・ **学習意欲を向上**させる学習指導方法の策定
- ・ 連携クラスの**魅力あるカリキュラムの策定**

<若狭・美浜地域>

連携校：美方高校、美浜中学校、三方中学校、上中学校

先行学習：数学、英語（2月以降に3日間、入学前特別学習）

[成果]

- ・ 高校の授業への円滑な移行
- ・ 美方高校への入学の意識付け

[課題]

- ・ 一貫した教育活動
- ・ 学習意欲の低下と伸び悩み

Ⅳ 中高一貫教育の充実に向けた提言（連携型）

中高連携クラス（中学3年～高校3年まで）の育成方針の明確化

- 全国に例のない**タブレット端末の活用、主体的な学び、中高一貫した探究活動のモデル的な教育**を集中実施
※ 中学3年の連携クラスを選択させる魅力的な方針が必要
- 生徒の心に火をつける3地域合同の**オリエンテーション集中合宿**（中学3年次）を開催
・ アドバイザーの支援のもと、学びに向かう姿勢や仲間との絆強化、進路目標を考える時間を確保

学ぶ意欲の向上とふるさとへの誇りを育む中高一貫した探究活動の実施

- 「**中高一貫教育推進アドバイザー**」の設置
・ **中高一貫した探究プログラム**の策定（探究手法（テーマ設定、データ分析、論文作成）、県内大学や企業連携）
- 生徒の主体的学びの習慣化
・ **学習アプリを活用**（AI教材（キュビナ等）や授業動画（スタディサプリ等））
・ アドバイザーの支援を受け、生徒の主体的な学習を推進
- 高校での探究学習発表に中学生が参画、訪日した海外の生徒等との英語での討論
- 連携生徒による**海外を含めた選択型研修旅行**を実施
- 高校の先にある大学進学や、その先の就職をイメージ
・ **最先端企業の訪問**や、英語による探究講義など**高大連携事業に中学生が参加**

併設型に近い福井県独自の中高一貫教育の実施

- 中学3年次に高校1年の担任（副担任）予定の教員を選任し指導
- 中学3年次に**高校数学等を先行学習**
・ 夏季休業や補充学習、中学校の授業時数特例校を活用した講義・オンライン講義を実施
・ 高校教員や**大学進学サポートセンター教員の派遣等による中学生への指導**（派遣体制を充実）
- 金津・丹生高校に加え美方高校に**新たに連携生だけのクラスを設置**
- 高校では**連携クラス独自のカリキュラムを策定**（教科書内容を早期に修了）
- 特色ある英語教育の実施
・ 中高において「**オールイングリッシュ**」を含めた**特色ある取組み**や、補充学習等にラジオ英語講座等を取り入れるなどリスニング、音読を強化する特徴ある英語教育を実施

高校生の学ぶ意欲の向上と中高一貫教育の中学生へのPR

- 高校の連携クラスの生徒が中学校に出向き探究活動や長期休業中の特別補習等を支援